

『建設物価 建築費指数[®]』

2025年3月分の指数データを公表

一般財団法人建設物価調査会（本部：東京都中央区、理事長：白土昌則）では、同会ホームページにて毎月公表している『建設物価 建築費指数』について、2025年3月分の指数データを2025年4月10日13:00より公表いたします。

建築費指数は、建物を建築する際の工事価格の変動を明らかにすることを目的に作成されており、物価としての建築費の時点間や地域間での比較や、建築費の動向に関する時系列的な観察が可能です。

■2025年3月分の指数動向（工事原価指数 東京）■

▶集合住宅(RC造)の指数は、136.0(暫定値)と前月比で0.4%増、前年同月比4.7%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与：上記以外の建築細目[+0.26]、アスファルト防水(材工)[+0.06]、電気機器(材工)[+0.05]などの6細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：鋼材(材)[-0.00]の1細目

▶事務所(S造)の指数は、136.6(暫定値)と前月比で0.4%増、前年同月比4.2%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与：上記以外の建築細目[+0.23]、電気機器(材工)[+0.15]、上記以外の設備細目[+0.10]などの6細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：鋼材(材)[-0.12]の1細目

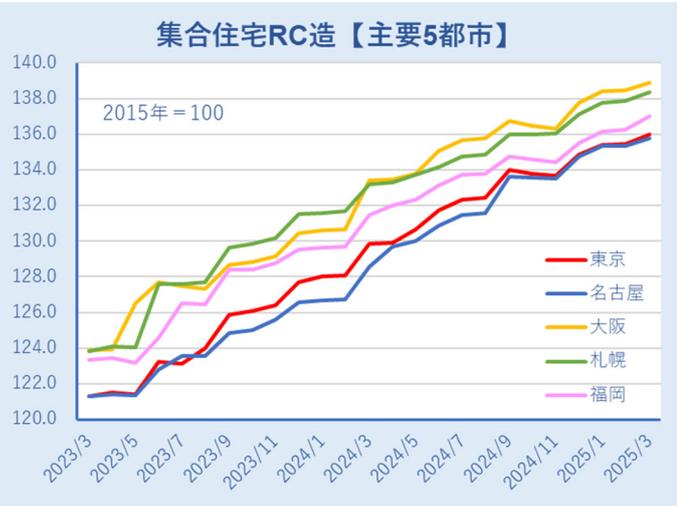
▶工場(S造)の指数は、135.3(暫定値)と前月比で0.4%増、前年同月比3.5%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与：電気機器(材工)[+0.21]、上記以外の建築細目[+0.18]、上記以外の設備細目[+0.10]などの6細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：鋼材(材)[-0.13]の1細目

▶住宅(W造)の指数は、141.1(暫定値)と前月比で0.2%増、前年同月比2.9%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与：上記以外の建築細目[+0.15]、衛生配管(材工)[+0.02]、空調機器(材工)[0.01]などの4細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：なし

■工事原価指数グラフ■



※2025年1～3月の指数は「暫定値(P値)」です。

■工事原価指数値■

集合住宅 RC 造【主要5都市】		※2015年=100				
年月	東京	名古屋	大阪	札幌	福岡	
2024年3月	129.9	128.6	133.4	133.2	131.4	
4月	129.9	129.7	133.5	133.3	132.0	
5月	130.7	130.0	133.8	133.7	132.3	
6月	131.7	130.9	135.1	134.2	133.2	
7月	132.3	131.5	135.7	134.7	133.8	
8月	132.4	131.6	135.8	134.9	133.8	
9月	134.0	133.6	136.8	136.0	134.8	
10月	133.8	133.6	136.5	136.0	134.6	
11月	133.7	133.5	136.3	136.1	134.4	
12月	134.8	134.8	137.8	137.1	135.5	
2025年1月	P135.4	P135.3	P138.4	P137.8	P136.1	
2月	P135.5	P135.3	P138.5	P137.9	P136.3	
3月	P136.0	P135.8	P138.9	P138.4	P137.0	

■指数動向に寄与した主な細目■ 詳細な市況は <https://www.kensetu-bukka.or.jp/> をご覧ください。

プラス寄与

人件費や燃料油価格の上伸を転嫁したガラス製品の値上げや、原材料である防水用アスファルト価格の上伸を背景とした防水アスファルトシートの値上げなどが指数動向のプラスに寄与した。

マイナス寄与

長引く建築需要の低迷を背景に、販売店間での受注競争が激化し、形鋼などの鋼材価格が続落し、指数動向のマイナスに寄与した。



【本件に関するお問合せ先】

※「建設物価 建築費指数」は建設物価調査会の登録商標です。

一般財団法人建設物価調査会 総合研究所 経済研究課 担当：伊沢 Tel：03-3663-7235

東京都中央区日本橋大伝馬町11番8号 フジスタービル日本橋 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

詳細な指数はコチラ → https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/shisu_kentiku/